

分野	1. 土木	工種	1. 共通		
技術の名称	フーチングレス・パネル工法			NETIS 番号	KT-0700742-VE
副題(商標名等)	自立式擁壁工法			登録(申請)年月日	平成19年9月3日
応募技術条件 チェック	次のいずれかの項目に適合(該当項目の口をチェック下さい)				
	<input checked="" type="checkbox"/>	県内に本社のある建設業者等が開発したもの。			
	<input type="checkbox"/>	県内に本社のある建設業者等(協会、組合等を含む)が中心となって開発したもの			
効果	右番号から選択	1 コストの縮減	6 施工性の向上	分類	右番号から選択
	5.6	2 安全性向上	7 その他		1
		3 品質の向上	効果を選択した理由を 下記概要や特徴に含めて 記入してください		
		4 工期の短縮			
		5 環境			
1 工法					
2 材料					
3 機械					
4 情報					
5 その他					
開発者 (提案者)	会社名	株式会社コクヨー			
	住所	千葉県稲毛区山王町336-1	TEL	043-304-2077	
問合せ先	会社名	株式会社コクヨー			
	担当部署	技術部			
	氏名	渡辺 強			
	住所	千葉県稲毛区山王町336-1			
	TEL	043-304-2077	FAX	043-304-2088	
	URL	http://www.kokuyoh.jp			
	E-mail	info@kokuyoh.jp			
概要	<p>フーチングレス・パネル工法は、自立式の擁壁工法です。 名称の通り、フーチング(底版)が無い構造なので、施工の自由度が高く、従来のL型擁壁では施工出来なかった様々な場所で施工可能な工法です。</p>				
特徴	<p>地中の柱状地盤改良体に鋼管を建込み、その鋼管とコンクリートパネルを一体化させる事により、フーチングの無い自立した擁壁構造を可能にしました。フーチングが無い事により狭い現場での施工が可能で、擁壁に近接する地下埋設物への影響も抑える事が可能です。 また、掘削幅が縮小されることにより、発生土量が抑制でき、環境にも配慮しています。</p>				
施工方法	<p>・柱状地盤改良体に鋼管を建込み、均しコンクリートを打設。地上部に突出した鋼管部にコンクリートパネルをセットし、自立式擁壁を構築する。</p>				
施工・材料単価(従来との比較)(土工費を含む直接工事費)	<p>L型擁壁 H=2.0m(但し、基礎にRCパイプを10本使用) 10m当り施工費(材工) ¥1,244,000・ー フーチングレス・パネル工法 H=2.0m 10m当り施工費(材工) ¥1,031,000・ー</p>				
適用条件・範囲	<p>・壁高の上限は3.0m程度までです。 ・腐植土地盤では適用は難しい。 ・狭い現場、埋設物に近接する現場での効果は大きい。</p>				
施工・使用後の環境への影響	<p>・環境への影響項目は特に無し。</p>				
施工・使用上の留意点	<p>・工事着手前に地盤調査を実施し、土質・N値・地下埋設物の有無を確認して下さい。 ・自立式のため、変位は必ず生じます。また柱状改良体は壁面前面より出ています。 ・パネル上部にネットフェンス・転落防止柵は取り付けられますが、ガードレールを取り付けることはできません。</p>				
実績状況(相手先、件数など)	<p>国土交通省 73件(千葉国道事務所8件) 地方自治体 508件 (うち県内では、千葉県土木事務所 18件、市町村 180件)</p>				
その他(特許番号、各種適合基準、グリーン購入法、建設技術審査証明書・GISなど)	<p>商標登録4210544(フーチングレス) 意匠登録1102685,1102686、1102688、1089222,1089223(擁壁用ブロック)</p>				

簡略化された作業手順

FP工法は柱状地盤改良体に鋼管を建込み、均しコンクリートを打設、地上部に突出した鋼管部にコンクリートパネルをセットし、自立式擁壁を構築するという手順で作業を行います。パネル側面にはテーパーが付いている為、約20mRのカーブ施工ができます。

1 床付・杭芯位置出



2 柱状地盤改良体築造



3 鋼管立て込み



4 均しコンクリート打設



5 パネル取り付け



6 中詰コンクリート打設



改良する



鋼管建込



パネル据付

施工例 千葉市椿森緑地



施工例 野田市七光台

